



(石巻市「オンザロード」の牡鹿半島狐崎浜での定置網漁業体験の様子)

年次報告書

一般財団法人 共益投資基金 JAPAN

2017 年度

(2016 年 10 月～2017 年 9 月期)

2018 年 1 月発行

東北地域より初の一部償還実現と新たな災害支援として「熊本基金」 設立および地域創生基金の法人設立に寄与

甚大な被害を出した東北の大震災からの、経済復興を実現するこれまでにない枠組みが必要、との確信から、2011 年 11 月に法人を創設し支援を開始、現在まで 6 年間支援を継続しております。

■「共益投資」という概念の展開

私たちは、復旧を超えた新たな経済モデルの創生を目指して、「共益投資」の概念を生み出し、事業者への支援活動を継続しています。雇用拡大や経済効果を生む新たな地場産業の中核事業者に、資金だけでなく、経営支援や販路拡大支援をサポートしています。またこの共益投資の考え方は東北震災復興支援のみならず全国、様々なターゲットに広がりを見せているものと考えており、今年度は広島県の神石高原町にて地域創生基金の立ち上げの支援を実行させていただきました。これを嚆矢に地域創生のプラットフォームとなれるべく引き続き邁進してまいります。

■二度の資金循環

また資金支援のスタートから 5 年後をめぐ

に、支援した部分の一部を償還いただき、その償還した資金で、社会復興支援活動をする NPO に助成をする、という二度の資金循環を目指しています。今年度は支援先から初めて 2 件、100 万円の償還を受けることができました。皆様のご努力でご償還いただいた貴重な資金は、現在も東北地域で活動されていらっしゃる方々にお役立ていただくよう検討します。

■東北への息の長い復興への支援

皆様のご支援をいただき、東北における支援は 6 年が経過しました。今後も伴走支援を継続していく所存です。

■今までの経験とノウハウを熊本地震からの復興にも活用

東北の震災復興支援のノウハウを熊本地震からの復興にいかしていくため、公益社団法人 Civic Force 様から寄付を頂戴し、「熊本基金」にて具体的な案件を支援してまいります。引き続きご支援賜りますようお願いいたします。

一般財団法人
共益投資基金 JAPAN

○これまでの 活動実績

<2011～2017 年:

これまでの支援案件と資金支援額>

14 案件 17,000 万円

雄勝硯生産販売協同組合	3,000 万円
佐藤造船所	2,000 万円
及川電機	1,800 万円
ピースネイチャーラボ	500 万円
釜石ヒカリフーズ	1,300 万円
トラスト	1,000 万円
三陸いりや水産	1,000 万円
女川町宿泊村協同組合	500 万円
onagawa factory	500 万円
TATAKIAGE Japan	500 万円
有限会社ドウビー・ソーシャル事業部 (旧被災事業所復興支援室)	300 万円
オンザロード	1,000 万円
カシワダイリンクス	3,200 万円
dreamLab	400 万円

○今年度の活動、投資実績・効果について

【今年度の活動】

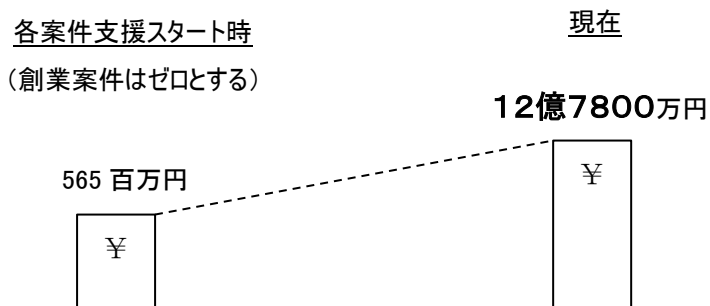
本年度も、引き続き、資金および事業活動のサポートを継続実施してまいりました。また2件の一部償還を実行されております。ただ一方で、誠に残念ではありますが、諸事情勘案、1件事業精算をされる結果となりましたことをご報告させていただきます。引き続き支援先のバリューアップのお手伝いを継続してまいる所存です。今年度の主だった取組事項は以下の通りです。

- 既存13案件のバリューアップ継続
- 社会的投資管理指標(KPI)を共有しての管理継続
- 既存支援先からの一部償還実行(タキアゲジャパン様、被災事業所復興支援室様合計100万円)
- ピースネイチャーラボ様の事業精算対応(支援金額500万円)

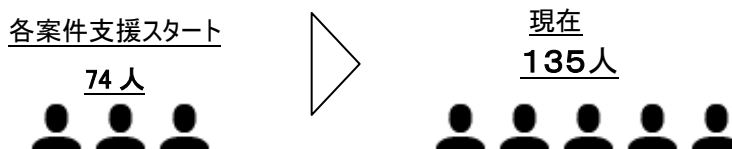
また前述しましたが、現在までの経験とノウハウを熊本からの震災復興支援、および地域創支援にも対応すべく、体制を整えながら運営しております。今後ともご支援のほどなにとぞよろしくお願いいたします。

【これまでの投資効果】

<売上高の拡大(現在までの支援先13件合計)>



<雇用の維持と拡大(昨年度までの支援先12件合計)>



<現在までに支援先が金融支援や助成金、義捐金等をいただいた金額合計>

13億4300万円

皆様のご支援、各支援先のご努力、追加支援の輪の拡大の循環で、現在まで支援先合計で上記のような効果が表れてきております。その他定性的な各案件の地域貢献含む共益投資の広がりには各件のご報告をご参照ください。

○今後の方針 検討中案件について

【目的・目指すゴールと現状】

基金のスタート時点では、数年間(当初想定は 2016 年まで)はいただいた寄付を原資として、東北被災地域における事業再生および起業に資金支援および、人的なサポートを実施継続することを想定しておりました。支援スタートから 6 年を経た現在までの資金支援実行先は 14 件となり、今年度の 1 件の事業精算がございましたが、13 件の支援先が現在まで事業を継続していただき、皆様の一定の事業拡大と地元雇用の確保および拡大に微力ながら寄与させていただけたものと考えております。

またもう一つの基金設立の目的の柱である、二度の資金循環の実行に関しましても、今年度 2 件 100 万円のご償還をいただきましたので、他の案件も含めまして今後も可能な限り当初の資金支援分までの償還を受け、最終的には経営陣および地元資本にエグジットすることで、当該事業者が地元資本の地元の人が運営する会社として持続していくことを目指しております。償還の最大期間は 10 年を想定しており、その期間中に償還を受け、償還資金はその時点で社会的な事業を継続されている NPO 団体等に寄付することを想定しております。東北の支援先から償還を受けた資金は、その時点で東北にて活動されている団体に助成いたします。頂戴いたしました償還資金の活用方法は現在検討中で、次年度の実行を目指しております。

【今後の課題】

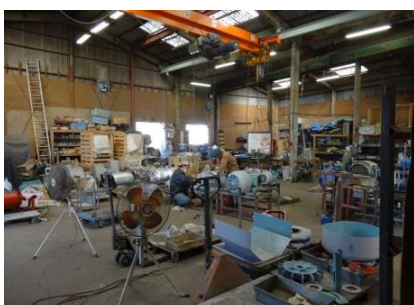
東北においては、震災から 6 年を経過した時点において、社会全体の関心がますます低下している傾向にあります。インフラの復興は達成されたものと考えておりますが、本当の意味での復興を超えた創造的な地域基盤の復興はまだこれからであると考えており、地域全体の復興の達成をめざして、継続支援を実施していく所存です。残念ではございますが、1 件の事業精算があった事実からも、各案件につきましては、収支についての観点から確認させていただくと、売上向上を達成されている先と、売上および収支が震災前の数値まで改善できていない先とのばらつきがより一層はっきりとってきているのが現実です。引き続き各支援先が必要とされているサポートを続け、みなさまの意向をベースにした将来方針を協力して作成の上、実行することを今後も続けてまいります。

【今後の計画】

東北においては、引き続きご償還を実行いただき、今年度頂戴した償還資金に加えて、まずは 2 度の資金循環の実行のため、現在地域で活動されている方々に助成することを目指しております。

また基金ジャパンとは、「熊本基金」を設立しましたので、熊本の震災における具体的支援の実行を検討しております。それに加えて、震災等の復興スキームをこれからは地域創生のスキームとして活用すべく、神石高原町の基金が設立されましたので、その運営のアドバイスを通じて、共益投資の環を拡大すべく鋭意努力してまいります。

また新しい取組ができましたら、ご報告させていただきます。



○基金のこれまでの取組み

投資先地域

～2011年～

- 11月 一般財団法人 東北共益投資基金設立
- 12月 一号案件「雄勝硯生産販売協同組合」発表

～2012年～

- 1月 二号案件「佐藤造船所」発表
- 2月 「ユニクロ 復興応援プロジェクト」
協働パートナー決定
- 3月 三号案件「及川電機」発表
- 4月 復興起業キャピタル発表
- 5月 四号案件（復興起業キャピタル一号案件）
「ピースネイチャーラボ」発表
- 6月 復興金融円卓会議準備会、
共益投資サロン第一回開催
- 7月 「三陸リアス復興資本」の環発表 &
五号案件（三陸リアス復興資本一号案件）
「釜石ヒカリフーズ」発表
- 10月 六号案件「トラスト」発表
- 11月 七号案件「三陸いりや水産」発表
- 12月 八号案件「女川町宿泊村協同組合」発表

～2013年～

- 1月 九号案件（復興起業キャピタル二号案件）
「株式会社 onagawa factory」発表
- 6月 十号案件「NPO 法人 TATAKIAGE Japan」発表
- 7月 十一号案件（復興起業キャピタル三号案件）
「被災事業所復興支援室」発表

～2014年～

- 10月 一二号案件「オン・ザ・ロード」発表

～2015年～

- 1月 一三号案件「カシワダイリンクス」発表
- 3月 一四号案件「dreamLab」発表

～2016年～

- 4月 「共益投資基金JAPAN」に名称および体制を変更

～2017年～

- 6月 公益社団法人 Civic Force 様より追加でご寄付頂戴し
「熊本基金」設立
- 7月 神石高原町チャレンジ基金の設立検討業務受託実行
- 9月 「NPO 法人 TATAKIAGE Japan」および
「被災事業所復興支援室」より各 50 万円ずつ償還実行



○各支援先の状況報告

第1号案件

雄勝硯協同組合 (宮城県石巻市)

～伝統工芸雄勝硯を多種にいかし地道に活動続ける～

概要

代表者: 澤村 文雄(理事長) 業種: 工芸品製作
支援策: 資金+アドバイザー派遣 投資額: 3,000万円
サイト: <http://www.ogatsu-suzuri.jp/>



本設の住宅や防潮堤の建設など、町の復興計画がようやく形になり始めた雄勝町ですが、まだまだその道のりは長いものとなりそうです。

硯組合の活動も、地元宮城の仙台放送主催の「東北・みやぎ復興マラソン」の完走者記念品として雄勝石を使ったメダルが採用され、完走を果たされた10,000人弱の方達の首にかけて頂くこととなりました。組合にとって、大型の受注案件であるとともに、被災地域内外に向けて大きなアピールとなる有意義な事案となりました。また、仙台放送様にも大変ご満足頂けたとともに、次回もご採用頂くためのご相談にもすでに着手しております。

その他にも、大型の事案はないものの、本設公営住宅用の壁材提供など、地道に活動を続けております。経済面、人材面をはじめ、依然厳しい業況に変わりはありませんが、大きな事故等もなく2017年を終えようとしています。

理事長・澤村文雄氏 ひとこと

まずは日頃の皆様からのご支援に心から感謝申し上げます。さて、震災から6年以上経った昨今、域外から雄勝町を訪れる方々の数も減り、少しずつ風化していくことへの恐れを感じずにはいられません。そのような中、組合の活動としては、全般論としては非常に苦しい状況ですが、個別論では、仙台放送様の事案や今後雄勝町で建設される建物への雄勝石の利用など、商いの側面とは別に、地域貢献となる喜ばしい事案もございます。今後とも一丸となり頑張っておりますので、より一層のご支援のほど心よりお願い申し上げます。

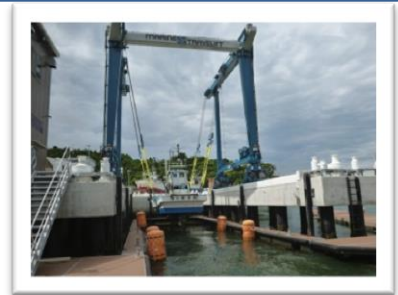
第2号案件

佐藤造船所 (宮城県石巻市)

～施設設備の復旧により一部事業の再開に至る～

概要

代表者: 佐藤 文彦 (代表取締役) 業種: 特殊船舶の修理・整備
支援策: 資金 投資額: 2,000万円



皆様、大変お世話になっております。震災から6年が経過する中、これまで多くの様々な問題に直面しながら、現状ある課題と真摯に向き合い、早急な施設設備の復旧。そして、一日でも早い事業の再開に全力を尽くしてまいりました。お蔭様で本年6月中旬にようやく一部事業(船舶の上下架作業)の再開にこぎつけることが出来ました。これも多くの皆様からのお力添えがあったからこそと、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。本来は準備万端整えて年明け早々からの再開を予定しておりましたが、様々なアクシデントが重なり不本意ながらシーズン途中からとなりました。更には7月上旬から9月下旬までは年内最大の繁忙期でもあった為、新たな上下架装置の試運転調整等の時間が十分とれない状況での操業開始となり悪戦苦闘の連続でもありました。しかしながら、同時に、こんにちこうして地域基幹産業(水産業)の下支えとして微力ながら再び役割を担える喜びと、ようやくスタートラインに立ったと言う実感も湧いてきました。これからが本当の正念場です。現時点では震災前の造船所機能回復までには至っておりません。今後はこの現状課題の解決と震災以来からの懸案事項として当所地区全体、特に事業敷地に隣接する防潮堤工事等の進捗状況を注視しながら事業活動に最善を尽くしてまいります。

代表取締役・佐藤文彦氏 ひとこと

今日まで多くの皆様に温かい励ましを頂いております事、心から感謝申し上げます。これまで通り、現状ある課題と真摯に向き合い、事業目的の遂行実現に最善を尽くしてまいります。今後とも宜しくお願い致します。

第3号案件

及川電機 (宮城県石巻市)

～新入社員も迎え組織再編と効率化等新たな問題に取り組む～

概要

代表者: 及川 雅貴(代表取締役) 業種: 船舶電気機器・醸装
支援策: 資金+アドバイザー派遣 投資額: 1800万円

サイト: <https://www.facebook.com/odk1721/>



震災より六年を数えます今年度は昨年から続く苦境の年でありました。

五年目を迎えてからが復興本番との言葉通り、周囲の環境がある程度震災前の水準を取り戻したからこそ、震災前から抱えていた問題が顕在化しつつあることに加え、弊社では、先年から続く人材確保の問題が解決できずにいる状態が続いております。

前年から抱えていた社内の摩擦についてはある程度の緩和が見られ、六月には新入社員一名を迎えることができたものの、怪我や病気などにより熟練の社員が十全に動けない状態が断続的に続いており、思うように受注を確保できない状態が続いておりました。

今度は、これらの問題に向き合いつつ社内の組織再編と効率化、技術の向上に向けて社員の手を借りながらより一層の努力を続けて参りたいと考えております。



社長・及川雅貴氏 ひとこと

震災から六年が過ぎ、一年一年が課題と試練の年だと強く感じるようになりました。皆様からいただいた御支援を支えに、乗り越えていきたいと思っております。

第4号案件

トラスト (宮城県亶理郡)

～一部事業黒字化実現さらなる改善を目指す～

概要

代表者: 丸子 孝市(代表取締役) 業種: 電子回路基板製造業
支援策: 資金+アドバイザー派遣 投資額: 1000万円
サイト: <http://www.trustweb.co.jp/>



株式会社トラストは、宮城県亶理郡でプリント基板製造装置の中古機械販売・保守サービスを仕事として取り組んでいました。

震災により工場が多大な被害を受けましたが、震災後は中古機器販売事業に加えて新品機器販売事業及び表面実装事業を開始しました。新品・中古機器販売事業は比較的堅調で、表面実装事業に於いては携帯電話、自動車関連等で受注が昨年10月から上向きに推移、現在では黒字化を実現するようになりました。

しかし、赤字状態の長期化が財務内容を圧迫しております。わずかではありますが日々、改善傾向にあると思っております。従業員の雇用を死守する為になお一層の経営努力を図ってまいります。



社長・丸子孝市氏 ひとこと

震災以降、多大なご支援をいただき、誠にありがとうございます。東北地域全体でエレクトロニクス関連の仕事が低迷する中、新事業である表面実装事業は苦戦を強いられましたが、長期に渡るご支援と営業努力の結果、表面実装事業の黒字を達成致しました。これからは、この黒字の維持、向上すべく努力を図ってまいりますので、引き続きご支援宜しくお願い致します。

第 5 号案件

女川町宿泊村旅館組合 （宮城県牡鹿郡女川町） ～移転リニューアルオープンにより地域の集客にも寄与～

概要

代表者：佐々木 里子（理事長） 業 種：宿泊施設運営
支援策：資金 投資額：500 万円
サイト：<http://hotel-elfaro.com/>



今まで営業しておりました女川町 清水地区が、復興に関わる嵩上げの時期になり トレーラーハウスを移動し今年 8 月より女川駅より徒歩 1 分の場所でリニューアルオープンいたしました。

お客様も「便利になった」と喜んでくださり、駅前商店街からも「お客様が増えた」と声があがっております。

JR 女川駅 物産店 飲食店 温泉 そして宿泊施設が徒歩圏内に揃った今年からは 滞在型人口の増加に寄与して参りたいと思っています。



理事長・佐々木里子氏 ひとこと

ホテル・エルファロの新コンセプト【アウト ドア リビング】。

お部屋で十分に寛いでいただき 外では山や海などのアクティビティを満喫出来るよう 旅のお手伝いをさせていただきます。

第 6 号案件

釜石ヒカリフーズ （岩手県釜石市） ～順調に取引先増加および雇用創出続く～

概要

代表者：佐藤 正一（代表取締役） 業 種：水産加工業
支援策：出資+アドバイザー派遣 投資額：1300 万円
サイト：<http://www.hikarifoods.jp/>



当社は、2011 年 8 月に岩手県で震災後第 1 号の新規水産加工事業として岩手県釜石市に設立されました。最先端の冷凍設備と加工技術により、東北地域で水揚げされたタコ、イカ、鮭、ワカメなどを主に業務用として加工販売しています。また JST との「スラリーアイスを用いた鮮度流通」や農水省の「水産加工業の実用化実証研究」などの研究開発事業も行っています。



社長・佐藤正一氏 ひとこと

震災以降、多大なご支援をいただき、誠にありがとうございます。当社は、地元の雇用創出、地域漁業者との連携、次世代人材の育成をミッションに掲げています。おかげさまで、各生協、JA、大手外食チェーンを始めとする 40 社以上の取引先を抱え、約 30 名の雇用創出につながりました。今後は事業の拡大に伴い、第二工場建設も視野に入れて参ります。今後ともよろしく願いいたします。

第7号案件

三陸いりや水産 (岩手県釜石市)

～地元業者との連携により更なる商品開発を目指す～

概要

代表者: 宮崎 洋之 (代表取締役) 業 種: 水産加工業
支援策: 資金+アドバイザー派遣 投資額: 1000万円
サイト: <http://www.sanriku-ilya.jp/>



三陸いりや水産株式会社は、大手外食企業の欧州責任者であった宮崎社長が、震災後岩手県釜石市で起業された水産加工会社です。地元産の地魚を利用した「三陸ブイヤベース」などの商品開発や健康食品材料の鮭白子の卸売を行っています。地元企業や漁業者と連携して地元産品を使った六次化商品開発のためKAMAROQ株式会社を設立し、「釜石海まん」などの商品を発売しています。



社長・宮崎洋之氏 ひとこと

震災以降、多大なご支援をいただき、誠にありがとうございます。被災事業を継承した鮭フレーク加工事業は、従業員の引退の時期を迎え、2016年夏をもって事業を停止しました。今後は、KAMAROQ株式会社や地元の水産会社との連携を行いながら、地元産品を活用した商品開発を通じて、地域の発展に貢献していきます。今後ともよろしく願いいたします。

第9号案件

オナガワファクトリー (宮城県牡鹿郡女川町)

～他業者との新商品開発により売上増加を狙う～

概要

代表者: 湯浅 輝樹 (代表取締役) 業 種: 工芸品開発・販売
支援策: 資金+アドバイザー派遣 投資額: 500万円
サイト: <http://ameblo.jp/small-rebuild-project/>
<https://www.rakuten.co.jp/onagawafish/>



木工手工芸品の新たな方向性を探る中、2016年末より木製玩具の人気メーカーである株式会社おもちゃのこまーむ(埼玉県川口市栄町1-4-16)の協力を得ることができ、現在、おもちゃのこまーむのプロデュースによる新たなブランドの構築をおこなっている。具体的には魚をモチーフにしたガラガラや歯固めなど、乳幼児を対象とした木製の玩具を製作。2017年12月のリリースに向け、現在最終調整を行っている。ブランド名を『onagawa fish baby』とし、おもちゃのこまーむと弊社のダブルネームで売り出し、両社からの販路開拓をおこなう事で幅広い販路の開拓を狙っている。おもちゃのこまーむの商品は、最低でも年間3,000個の出荷を切ることにはないので、新商品も各々3,000個/年の出荷を目標とし、弊社の売上げの底上げを狙っている。



代表取締役・湯浅輝樹氏 ひとこと

「支援だから買う」商品から「買いたくなる」商品づくりを目指してきましたが、ようやく土俵に立つことが出来ました。

第 10 号案件

TATAKIAGE Japan (福島県いわき市)

～順調に活動を拡げ地域に貢献～

概要

代表者: 松本 文 (代表理事) 業 種: 起業家育成、
ワーキングスペース運営
支援策: 資金+アドバイザー派遣 投資額: 500 万円
サイト: <http://www.tatakiage.jp/> <http://hamacom.jp/>



「地域でアクションする人の次の一歩を地域みんなで応援する仕組みと文化を提供しよう!」をミッションに掲げ、基金からの資金援助のもと「コワーキングスペース」を2013年7月に開設後、「浜魂」を2015年8月から始めて開催数も20回を超え、総登壇者数も100人を超えました。昨年度からは、いわき市役所やふくしま復興塾、いわきビジネスプランコンテストとの横連携も構築でき、浜魂で生まれた小さいアクションの種をビジネスにまで育てようという動きにまでなってきました。これらによって、いわき市は、東北でも有数のアクションを始めやすいまちになってきたと感じます。

また、活動の幅もかなり広がりを見せており、地域の大学を地元のキーマンと繋ぎプロジェクト型の授業を設計したり、首都圏の大学生を地元企業と繋ぎインターンシップをコーディネートしたりと、地域内外、多くのプレーヤーとのネットワークが構築されてきたからこそ、地域の新しいアクションのハブとして頼られる団体に成長してきたように思います。

これからも福島から日本を変えるアクションを、市民を巻き込み楽しみながら生み出していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

🗨️ 理事長・松本文氏 ひとこと

アクションの輪が広がり、いわき市は、どんどん面白い地域に育ってきていると感じます。引き続きご支援よろしくお願いいたします。

第 11 号案件

有限会社ドウビー・ソーシャル事業部(旧被災事業所復興支援室)(宮城県石巻市)

～安定した太陽光発電事業での売上を活用し次なる支援事業を検討～

概要

代表者: 古藤野 智 (代表理事) 業 種: 太陽光発電事業
支援策: 資金+アドバイザー派遣 投資額: 300 万円
サイト: <https://www.facebook.com/saiseinomatikikin>



次回支援予定の地元シニアNPO「日和なごみ会」

東北共益投資基金(当時)様からご支援いただいて、2013年から起業した太陽光発電事業ですが、4年を超えても変わらず安定した売電実績を上げています。

それに伴い始めた地域応援プロジェクト「再生の街プロジェクト」も地元のジュニアゴルファーへ総額285万円あまりの支援をすることができました。

現在はジュニアゴルファーへの支援は休止し、次の支援事業の検討をしています。被災地への公的資金が先細る中、地域に密着した地道な支援活動をしていきたいと思っております。

🗨️ 代表パートナー・古藤野智氏 ひとこと

再生可能エネルギーの普及と地元の支援、がんばります!

第 12 号案件

オン・ザ・ロード (宮城県石巻市)

～施設利用による人材交流を生み地元活性化に寄与～

概要

代表者: 高橋 歩 (代表理事) 業 種: ゲストハウス・コミュニティスペース運営

支援策: 資金+アドバイザー派遣 投資額: 1000 万円

サイト: <https://otr.or.jp/>



ロングビーチハウスでは、石巻の特産物を使用したスペイン料理レストランや、被災地にはまだまだ少ない宿泊施設、地域活性化に向けた多種多様なイベントの運営を行っています。イベントには、これまで約400名の方に参加していただきました。

オープン2年目を迎えた現在、地元の方の雇用を始め、新しい仲間と共に弊施設を運営中です。また、石巻を訪れた県外の方とご近所の人々が繋がる機会も日々創出されており、石巻が賑わう一助を担っています。

今後は、石巻の若者が主体となって、多方面からの石巻を活性化できる活動プログラムを提案していきたいと考えています。石巻に住む人々のさらなるコミュニティの形成、被災地の活性化を目指していきます。

🗨️ 事務局長・岡本舞子氏 ひとこと

震災から6年が経ち、目に見える災害の爪痕は無くなりつつあります。ですが、被災された方々の悲しみは消える事はありません。私達には、その悲しみを消してあげる事は出来ませんが、その悲しみを少しでも癒し、笑顔を増やす事は出来るのではないのでしょうか。

水に水紋が広がるように、ロングビーチハウスから石巻へ。石巻から日本そして世界まで。人々の笑顔の波を広げていければと思っています。

皆様にとって、今回の体験が何かを思い考えるきっかけとなりましたら幸いです。石巻へ！お待ちしております。

第 13 号案件

株式会社カシワダイリンクス (広島県神石郡)

～酪農事業順調新たな商品展開を目指す～

概要

代表者: 相馬 幸香 (代表取締役) 業 種: 牧場経営・乳加工品製造・販売事業

支援策: 資金 投資額: 2,600 万円

サイト: <http://www.somas-ranch.com>



皆様からご支援を頂き初める事が出来ました酪農事業も今年で3年目となり、搾乳頭数も増えてまいりました。昨年同様体験型テーマパーク「神石高原ティアガルテン」のソフトクリームショップの運営と同施設内のショップでもソフトクリームを販売して頂き、販売量も増えてまいりました。加工商品である「ヨーグルトドリンク」も好評で1年を通じて生産販売が出来るようになりました。

来年はさらに搾乳頭数が増えてまいりますし、新たな商品展開も考えております。

🗨️ 牧場長・相馬行胤氏 ひとこと

写真のような子牛が元気に育っています。

第 14 号案件

株式会社 dreamLab (福島県いわき市)

～子どもの夢を応援するプログラムを試行錯誤～

概要

代表者: 小川 智美 業 種: 学童保育事業 (人材育成教育事業)
支援策: 資金 投資額: 400 万円
サイト: <http://d-ljp/>



ドリームラボを設立してから、2年が経ちました。昨年1年間の反省とともに、いろいろな部分で試行錯誤をしています。アフタースクールでは、「英語で世界について学び、自分の考えを世界に発信しよう」をテーマに、子どもたちが、英語でプレゼンテーションができるようなプログラムを導入しました。また、英語のインプットやアウトプットの方法を考え、楽しみながら学習できるようカリキュラムの検討を重ねています。

ロボット教室では、子どもたちは、休憩も取らず、3時間集中して、プログラミングを楽しんでいます。今年もロボットの大会(WRO新潟地区予選大会)に参加し、中学生・小学生ともに優勝しました。

今後も、英語やプログラミングを通して、子どもたちの夢を応援するため、スタッフ一同、力を合わせ、さらなる上を目指し、挑戦していきます！



代表取締役・小川智美氏 ひとこと

ドリームラボは、子どもたちの知的好奇心を刺激し、進化していきます！

【事業精算のご報告:ピースネイチャーラボ様の件】

2012年5月に500万を資金支援させていただきましたピースネイチャーラボ様が、2017年6月に事業を精算されました。弊基金としましても諸々ご検討しましたが、事業環境等勘案、方向性を共有させていただいた次第です。基金からの支援資金で購入された資材の一部は別のNPOに譲渡され活用いただくことになります。以下代表の畠山様からの経緯説明とご支援者様へのメッセージを掲載させていただきます。

<設立の経緯>

東日本大震災における被災地気仙沼において、復旧から復興へと移り変わるに従い、基盤産業である水産業および観光業の新展開が望まれおり、気仙沼に拠点があるNPO法人森は海の恋人と連携し、「流域」をテーマとした新たな加工食品およびツーリズムの研究・開発を展開をスタートした。

<解散の判断に至った経緯>

当初想定していた流域をテーマとした加工食品(燻製牡蠣のオイル漬け)の売り上げが伸び悩んだことが業績悪化の主要因となった。加工場(トレーラーハウス)の設置場所が復旧工事の対象となったこともあり、加工場の増設もできず増産するまで至らなかった。また、就労する従業員の確保についても、被災地全域で大きな課題となっている労働者不足のために確保することが困難であった。その後ツーリズムにむけてシフトするに至ったが決定的な改善はみこめず、解散することを判断した。

<支援者の皆様へ>

・皆様からのご寄付により活動させて頂いていたPNLですが、この度上記により解散する運びとなりました。これまでご支援いただきました皆様に心より御礼申し上げます。皆さまからの温かなご支援のもとで生まれた理念および活動の一部はNPO法人森は海の恋人へ引き継ぎ、より現状に即した形で東日本大震災による被災地の復興へ向けた取り組みとさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

○2017 年度 収支報告、助成金内容

共益投資基金 JAPAN の収支報告をします。経理処理は、外部税理士によって行われ、その正確性、公正性については、理事会および評議員会、監事によって確認をされています。ご不明な点がございましたら、事務局までお問い合わせください。

区分・項目	2017 年度実績		
人件費	370		
	事務局の運営に対応する人件費	209	
	支援案件の各種業務に対応する人件費	161	
旅費(事務職員等)	4		
広報活動・WEB 管理費	3		
事務所費および投資業務推進費	198		
	事務所費	通信費・備品費、水道光熱費、家賃等	
	投資業務 推進費	投資業務推進に係わる旅費・会議費	
		77	
		121	
バリューアップ支援費	外部専門家による調査や各種支援の委託費		
		53	
合計			628

(単位:万円)

弊団体に対して、設立当初より合計 500 万円以上のご寄付をいただいた法人・個人は、以下の通りです。ご支援、誠にありがとうございます。

2011 年からの合計額

- ・公益社団法人 Civic Force: 1 億 7,215 万円 (2017 年度 計 1,600 万円追加でのご支援)
- ・九州郵便局長協会: 3,000 万円
- ・株式会社 ユニコロ: 6,220 万円 (ユニコロ復興応援プロジェクトより)

【一般財団法人 共益投資基金 JAPAN】

所在地 東京都渋谷区富ヶ谷 2-41-12 富ヶ谷小川ビル 2 階

問合わせ TEL:03-3466-3676、 e-mail:info@kyoueki.jp

基金ホームページ <http://kyoueki.jp/>

＜参考＞共益投資基金 JAPAN のご紹介

被災地の中小の事業者の再起においては、金融機関や行政の資金供給だけでは十分に答えられない現実があります。サプライチェーンやバリューチェーンが大きな打撃を受ける中、旧来の産業の単なる復旧を超えた、地域のつながりを新生する新たな地場産業モデルを創出していく必要があります。

2011年の東日本大震災をきっかけに設立した「東北共益投資基金」は、被災された企業の皆さんにビジネススキルとともに資金的な支援の手を差し伸べることで復興を具体的に支援し、数年後に事業が順調に立ち上がって可能な限り償還していただいたものを原資として地域で活動するNPOへ助成する「二度の資金循環」を目的に立ち上がり、累積14案件1.7億円の支援を実施いたしております。

2016年より生まれ変わった「基金ジャパン」は、大規模被災地域における復興支援の仕組み「共益投資」のノウハウを他の地域にも展開し、災害大国の日本における地域経済の復興に寄与して新しい地域経済をリードする共益事業を支援してまいります。

■基金のフレームワーク



1. 新たな地場産業モデル創出支援

新しい地域経済をリードする「共益事業」に積極投資し、(資本性のある資金の提供)、コミュニティ新生も視野に入れた地域活動の広がりをめざします

2. バリューアップ支援

資金の提供だけではなく、地域固有の価値を發揮できるよう、ノウハウ提供・経営支援でバリューアップを図ります

3. 二度の資金循環

「共益経済」の実現に向けて、5年をめぐりに地元へ資本をパトタッチ、償還された資金を次の課題へ再投資します(NPO等への助成)